



# ネイチャーセンターだより

2015年9,10月号

## いきもの図鑑



### シジュウカラ (シジュウカラ科)

学名 Parus major

【大きいカラ】

英名 Great Tit

根室では、公園や林などで一年中見られる小鳥。胸にはネクタイのような縦斑があり、その太さでオスとメスを見分けることができる（オスの縦斑は太い）。ヒガラやハシブトガラ、エナガ、コゲラなどの小鳥と共に、小さな群れ（混群）をつくり行動することが多い。樹洞やキツツキの古巣に営巣するほか、巣箱や郵便受けの中などに巣を作ることもある。今年は、自然学習林にある巣箱に、1つがいのシジュウカラが営巣した。

### 【9月】

秋の花が開花し、いよいよ花のシーズンもクライマックスです。春国岱ではウラギクやエゾオグルマ、エゾナミキソウが咲いています。自然学習林では、ミミコウモリ、ハンゴンソウ、コキツネノボタンが咲き森の中を彩ります。夏鳥は南へと渡りをはじめ、徐々に秋の気配が深まってきます。



ウラギク



ハンゴンソウ

## 9,10月の見どころ



オオハクチョウ



クロガモ

### 【10月】

アッケシソウが紅葉し、春国岱の塩湿地は赤色に染まります。また、水辺にはオオハクチョウをはじめとした、カモの仲間が飛来し始めます。カモは植物を好む種、貝や甲殻類を好む種がいます。そのため、カモの居場所を知ること、そのカモの食性がわかる場合もあります。

# 見どころMAP

干潟ではキョウジョシギやトウネンが餌を探して走り回っています。

アッケシソウがきれいに紅葉します。

エゾトリカブトやオニグルミの実が見られます。

木橋工事が始まり、9月中に開通する予定です。

木道が破損したため通行禁止となっています。海岸沿いの作業道をご利用ください。

湿地ではタンチョウが採餌する姿が見られます。

水辺では、オオハクチョウをはじめとした、カモの仲間が見られます。

- 観察路 (ヒバリコース1.2km、約25分)
- 観察路 (ハマナスコース1.4km、約30分)
- 観察路 (キタキツネコース0.8km、約20分)
- 観察路 (アカエゾマツコース0.5km、約15分)
- 作業路 (春国岱上は車両進入禁止)
- 観察路 (小鳥の小道1.4km、約30分)
- 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター (入館無料)
- 東梅野鳥観察舎 (東梅ハイド)

⊗ 通行止め

## この羽根、だれの??

海岸や森の中を歩いていると、鳥の羽根を拾うことがあります。しかし、一枚の羽根だけでは、なかなかどんな鳥の羽根なのかがわかりません。先日も、一枚の白い羽根を持って「春国岱で鳥の羽根を拾ったんだけど、何の種類？」とお客さんが尋ねてきました。どこで拾ったのか、どれぐらいの大きさなのかなどを話しながら図鑑を使って一緒に調べてみると、おおまおおい どうやらウミネコの大雨覆という羽根であることがわかりました。お客さんも羽根の正体がわかりすっかりした様子でした。

鳥の姿を見つけるだけでなく、鳥の羽根を探してみるのも自然で遊ぶ楽しみの一つです。みなさんも、春国岱などを歩くときは、足元にも注目してみてください。素敵な羽根が落ちているかもしれませんよ。そして、誰の羽根か分からないときは、ネイチャーセンターと一緒に調べてみましょう！



原寸大の羽根の写真が載っている便利な図鑑

トピックス

## 歩こう！夏の春国岱・風蓮湖

7月25日に春国岱の第一砂丘を歩くイベントを開催しました。片道2.5kmの道のりには、湿地や海、草原、森と多様な自然環境があり、環境によって生えている植物の違いを見ながら歩きました。

道中アオサギやタンチョウなどの水鳥を観察することができました。ラムサール条約に登録されている風蓮湖・春国岱は水鳥のエサ資源も豊富であり、子育ての場や採餌場として、とても重要であることを感じてもらえました。春国岱の環境は、地盤沈下による干潟の減少や、ハマナス群落におけるシカの食圧など、日々変化しています。これからも地域の自然を守るために、今ある自然を見守ってほしいと思います。



## エゾサンショウウオ上陸

5月に生まれたエゾサンショウウオの幼生は順調に育ち、8月15日、ついに最初の個体が上陸しました。まだ5cmほどの小さな体ですが、鰓は完全に消失し、陸上生活ができる身体になっていました。鰓呼吸から肺呼吸へと変わる、両生類ならではの变身です。

他の幼生たちも徐々に上陸はじめており、ウーパールーパーのような姿が見られるのは、あと少しの期間になりそうです。来館した際には、ぜひ幼生や上陸したばかりの成体をご覧ください。



## 春国岱クイズ

先月号の答え… B

涼しく感じる日が少しずつ増えてきて、だんだんと秋の気配が感じられるようになってきました。右の写真は8～9月に花を咲かせる「ハナイカリ」。名前も花の形も少し変わっていますが、なぜこのような名前がついたのでしょうか。

- A. 花を食べるとイライラするから。
- B. 花の形が船のいかりにみえるから。



ハナイカリ

# イベント情報！

観察会などへの参加申込み、お問い合わせは春国岱ネイチャーセンターへ  
電話（0153-25-3047）もしくは直接のご連絡をお願いいたします。



開催日時	行事名・内容	参加費	お申し込み方法など
10月18日(日) 9:00 ～15:30	ラムサール条約登録10周年記念 <b>風蓮湖の魅力を探るバスツアー</b> 春国岱から走古丹まで、風蓮湖をぐるりと一周するバスツアーです。レンジャーが同行し、身近な風蓮湖の魅力をご紹介します。	100円 保険代	<b>持ち物</b> 歩きやすく暖かい服装、お弁当、飲み物（あれば双眼鏡やカメラ） 集合：根室市役所9時 解散：根室市役所15時40分（予定）
11月11日(水) 18:30 ～20:30	<b>風蓮湖・春国岱ラムサール条約登録10周年記念事業</b> 条約登録10周年を記念し、風蓮湖・春国岱にまつわる自然環境保全の講演会を実施します。  (公財)日本野鳥の会 柳生博会長の基調講演もあります。(詳細は後日HP等)	無料	会場：根室市文化会館「1F 多目的ホール」  どなたでもご参加いただけます。

## ボランティア活動のお知らせ

8月3日に、ボランティアグループ「スंक」のミーティングを行いました。毎年スंक主催で開催している「スंकまつり」の時期や内容を話し合いました。例年秋に行っていますが、今回は冬に開催する予定です。これから冬ならではの楽しい企画を練っていきますので、今年もスंकまつりにご期待ください！

春国岱ネイチャーセンターでは、個人登録制のボランティア「スंक」が活動しています。いつからでも、経験がなくてもはじめられます。お気軽にお問い合わせください。

◆対象：高校生以上 年会費・保険料：300円

## フィールドマナーを守って

自然や生きものが安心して暮らせるように…

- 観察路から外れないようにしてください
- 動植物の採取や捕獲はしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 所定の場所での喫煙にご協力ください
- 春国岱入り口駐車場から奥は、一般車両の乗り入れは禁止されています
- キタキツネやエゾシカ、野鳥など野生動物の生息地です。ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください

根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター（入館無料）

〒086-0074 北海道根室市東梅103番地

TEL. 0153-25-3047 FAX. 0153-25-8570

Eメール. nemu\_nc@marimo.or.jp

URL. [http://www.marimo.or.jp/~nemu\\_nc/workn/index.html](http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html)

◆9月休館日：2日、9日、16日、24日、25日、28日、29日、30日

開館時間：9:00～17:00

◆10月休館日：7日、13-14日、21日、28日

**開館時間：9:00～16:30**（10月から3月まで開館時間が変わります）

◆団体でご利用の方へ

自然観察や学習、スライドの上映などのプログラムをご利用いただけます。

（要事前申込）



ラムサール条約湿地

風蓮湖・春国岱

2005年11月登録